

授業科目名	対位法 I	担当形態	演習		
		開講学期	春学期		
担当教員	小林 聡	単位	1	年次	3

### ＝授業のテーマ及び到達目標＝

2声対位法の課題の実施を通して、二つの声部の動きを意識できるようになり、音楽の奥深さや美しさを感じとり、作・編曲や演奏に生かすことができる能力を習得する。

### ＝履修の条件と学習の方法＝

与えられた定旋律課題に対旋律を作成することを実習する。そのため、毎回の授業に五線紙と筆記用具を持ってくる。2/3以上の出席がない場合、理由に関わらず、失格とする。遅刻、早退、中途退席3回で欠席1回と見なす。また、授業時間の半分の時間(45分)を超過しての遅刻、早退、途中退席は欠席扱いとする。無断退席・無断退室禁止。携帯端末使用禁止。飲食禁止。

### ＝授業の概要＝

毎回の授業で、与えられた定旋律に対旋律を作成し、添削指導を受ける。2声対位法の常用なポイントである、二つの声部の各々が美しい旋律であり、また、二つの声部が互いに助け合い、美しい音楽を作り出していることを常に意識しながら、自身の専門分野に生かす能力を習得する。

### ＝授業計画＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認
- 2回 二声対位法導入
- 3回 第1類：二分音符対旋律 － 1 －
- 4回 第1類：二分音符対旋律 － 2 －
- 5回 第1類：二分音符対旋律 － 3 －
- 6回 第1類：二分音符対旋律 － 4 －
- 7回 第1類：二分音符対旋律 － 5 －
- 8回 確認テスト
- 9回 第2類：四分音符対旋律 － 1 －
- 10回 第2類：四分音符対旋律 － 2 －
- 11回 第2類：四分音符対旋律 － 3 －
- 12回 第2類：四分音符対旋律 － 4 －
- 13回 第2類：四分音符対旋律 － 5 －
- 14回 第2類：四分音符対旋律 － 6 －
- 15回 まとめ

### ＝テキスト（必携）＝

書籍名：二声対位法  
 著者名：池内友次郎  
 出版社：音楽之友社

### ＝参考書・参考資料（必携）＝

必要に応じて指示する。

### **=成績評価の方法と評価の基準=**

定期試験、授業への参加姿勢、日頃の添削課題など、総合的に判断する。(85点以上A、70～84点B、60～69点C、59点以下D) 授業を著しく妨害した場合はC・D評価もありうる。

### **=その他=**